

図書館だより

2023年4月363号
 釧路市音別町ふれあい図書館
 編集者/美村由美子 ☎6-3435

今月のふれあい DAY は、
映画会を行います。
**「くまのアーネストおじさんと
 セレスティーヌ」**
 日時:4月22日 13:00~14:00
 場所:2階 視聴覚室にて



↑本の検索・予約はこちらから↑



↑ふれあい図書館 HP ↑



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 <small>出館のおはなし会</small>	15
16	17	18	19	20	21	22 <small>ふれあいDAY</small>
23	24	25	26	27	28	29
30	【開館時間】午前10時~午後6時 【休館日】月曜日、第3土曜日・日曜日、祝祭日					

第2回 音別中学校 POP 展

展示期間:4月4日(火)~4月30日(日)

場 所:音別町ふれあい図書館にて



昨年2月に開催した時の写真です。

昨年に続き第2回音別中学校 POP 展を開催決定!!

音別中学校生徒の皆さんが“学校図書室の利用促進”と“本に親しむこと”を目的に制作したPOPを展示します。

今回は音別町ふれあい図書館から貸出した本の中から選んでいただきました。気になった本がありましたら是非、借りてみてはどうでしょうか!?

4月12日はパンの記念日です。タイトルに「パン」が付いた小説を選んでみました!

- 鳥田 雅彦 「パンとサーカス」
- 群 ようこ 「パンとスーフとネコ日和」
- 村上 春樹 「パン屋を襲う」
- 木皿 泉 「昨日のカレー、明日のパン」
- 野中 ともそ 「パンの鳴る海、緋の舞う空」



1842年4月12日に第1号となるパンを焼くことに成功しました。

1983年に制定され、同時に毎月12日をパンの日となりました。



新刊紹介は裏面にあります。

4月新刊紹介

一般書・実用書

「JAR裁判」

青山 透子

フライト・テータの情報開示を求めた歴史的な裁判に肉迫し、事件の真相と〈昭和史の間〉に迫る。

隠蔽されたボイスレコーダーには、何が記録されていたのか？

「7・8元首相銃撃事件 何が終わり、

何が始まったのか？」 / 河出書房新社編集部

2022年7月8日午前11時31分、奈良市近鉄大和西大寺駅北口前の路上で放たれた銃弾は演説中の元首相・安倍晋三の生命を奪った。なぜ銃弾は放たれたのか、そして銃弾が切り裂いたものはなにか、この事件はなにを問うているのか

絵本

「木箱の蝶」

「おぼけのしかえし」

「おうちすいえいたいかい」

「いつつごうさぎとゆきのもり」

「ひつじのショー 激ムスまちがいはさかし」



小説

「息をつめて」/ 桂 望実

私が背負う絶望という罪。

ある事件をきっかけに、生きる地獄が彼女を襲う。

51歳。女ひとり7人ルームで食べるコンビニ弁当は、あまりにも寂しい。

「栗と嘘の季節」/ 米澤 穂信

わたしたちには人を殺せる“切り札”が必要だった。

図書室で見つかったトリカブトの花の栗。中毒で倒れた教師。図書委員の堀川と松倉は犯人を捜すがー。

児童書

「ラッコの世界」 「SDGsのひみつ」

「日本のスゴイいきもの図鑑」

「にじいろフェアリー しずくちゃん 7」

「かいけつツヨリきょうりゅうママをすくえ！」



その他の新刊紹介は表面のふれあい図書館 HP
のQRコードから…

今月の【おすすめ】作家

たかぎ のぶこ
高樹 のぶ子

1946年4月9日生まれ 山口県

「エフェソス白恋」2002年 「マイマイ新子」2004年 「甘苦上海」2010年

「アジアに浸る」2006年 「白磁海岸」2017年 他にもご用意しています。

図書館からの情報は表面に記載しています。





新刊紹介



(一般教養・実用書)

- 城島 明彦 「家康の決断」 
- 青山 透子 「JAL 裁判」
- 小野 善郎 「思春期の心と社会」
- 米川 明彦 「聖書から出た日本語 100」
- 岡田 五知信 「起死回生東スポ餃子の奇跡」
- 本間 節子 「糖質オフのやさしいお菓子」
- 長谷川 雄一郎 「通じすぎて怖いカタカナ英会話」
- 経塚 加奈子 「移ろう暮らしに寄り添う道具」
- 河出書房新社編集部 「7・8 元首相銃撃事件
何が終わり、何が始まったのか？」
- 本田 健 「50代にとって大切な17のこと」
- 小島 一夫 「バドミントン最強のメンタル
トレーニング」
- 今朝 耕郎 「ならば、マンガで説明しよう！
政治・経済」
- 寺坂 俊介 「サステナビリティ時代の
病院経営改革」
- morinoie 「軽井沢はじまりの森暮らし。」

(絵本)

- 「木箱の蝶」
- 「おばけのしかえし」
- 「おうちすいえいたいかい」
- 「いつつごうさぎとゆきのもり」
- 「ひつじのショーン激ムズまちがいさがし」



(小説)

- 大沢 在昌 「黒石」 
- 桂 望実 「息をつめて」**
- 北大路 公子 「お墓、どうしてます？」
- 北方 謙三 「チンギス紀 15」
- 近衛 龍春 「御家の大事」
- 佐々木 譲 「樹林の畏」 
- 古川 智映子 「負けない人生」
- 菅田 哲也 「妖の絆」
- 群 ようこ 「たりる生活」
- 山田 悠介 「サブスクの子と呼ばれて」
- 横関 大 「闘え！ミス・パーフェクト」
- 米澤 穂信 「菜と嘘の季節」

(児童書)

- 「ラッコの世界」 
- 「SDGsのひみつ」
- 「日本のスゴイいきもの図鑑」
- 「にじいろフェアリー しずくちゃん 7」
- 「かいけつゾロリきょうりゅうママをすくえ！」

♪小説から

桂 望実 「息をつめて」

私が背負う絶望という罪。

ある事件をきっかけに、生きる地獄が彼女を襲う。

51歳。女ひとりワンルームで食べるコンビニ弁当は、あまりにも寂しい。

